



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



卓話 たかさご万灯祭について

西中 亮二 会員

平成18年、兵庫県の景観形成地区に高砂町堀川地区が指定された
(堀川地区という呼称は元々なかったが便宜上旧町内をさす)

web.pref.hyogo.jp/wd23/wd23_000000023.htm/

景観形成重要建造物として商工会議所の建物が指定された(H17)

それに対して地元での反応がうすく、認識もなく盛り上がり欠けるところがあった為、兵庫県からの補助金や高砂商工会議所のバックアップも得て高砂市観光協会主催で「高砂みなと堀川まつり」を開催、地域住民とともに堀川地区の景観保全にむけての認識をあらたにした。同時に旧商店街など商業の振興もはかることを目的とした。



この催しを継続すべきか、今回限りとするか高砂市も交え協議、行政の全面バックアップを得て、あらたに組織の再編を図り、名称も「たかさご万灯祭」として兵庫県の補助や、会議所・観光協会、一般からの協賛金を募り第1回を昨年開催した。

事業内容は、商工会議所をはじめとする堀川地区に点在する景観形成に重要と思われる建物のライトアップ、路地を主体にそれら建物への誘導線を兼ねたキャンドルの設置、各重要建造物内でのJAZZ演奏、縁日露店など。

見るだけのイベントの集客はむずかしく、若い層からのアイデアでJAZZの演奏をすることになったが、古い町並みとJAZZがマッチしてとてもいい雰囲気の花が演出できた。今年で3回目を迎えて出演希望のバンドが増えてきてプロも参加。万灯祭に出演がステイタスとなってきている感もある。JAZZの催しとしては神戸に次ぐ大きさのイベントとなっている。

本年は会議所青年部主催のキャンドルカフェ(男女100人の出会いの場を提供)を同時開催また学生による参加型のオブジェ制作なども加わった。

あとは、食べる、買う、参加する等が充実すれば一流の大きな催しとなりうる可能性があると思われる。

内容の充実がよりはかられ、市民の楽しみとなるような催しとして発展していくことを希望する。



President

会長の時間

先週9月6日の土曜日に開催しました第4回マーチング・イン・高砂では、佐野会員、社会奉仕委員会の皆さんをはじめとして、大勢の会員の皆さんに大変お世話をおかけ致しました。お疲れ様でございました。お陰を持ちまして、大盛況の内にイベントを終えることが出来ました。ありがとうございました。

翌7日の日曜日には、神戸ポートピアホテルにおいてR財団セミナーが開催されました。当クラブからは、伊藤R財団委員長と岡本幹事に出席して頂きました。また、佐野会員には、地区R財団学友小委員長としてセミナーの報告者を勤めて頂き、原田会員には、当地区からタイ国に派遣することになっているGSE派遣団のアドバイザーとして参加して頂きました。お疲れ様でございました。

R財団の寄付金の種類及びそれらの資金活用の流れ等について、盛り沢山の説明を受けました。今回のセミナーで最も印象に残ったのは、よくもこんなに複雑な仕組みを作り上げたものだ、ということでした。

何事につけても、常に「簡素第一」を心掛けなければならないと感じた次第です。

自分はR財団に対して反抗的なのか、と自問しながら、今朝になってからセミナー当日配布されたハンドブックを開いてみました。その2頁目に次のような記載がありました。

2007年規定審議会で、R財団に関して採択された決議の中で、優先事項の最初に「すべてのプログラムと運営を簡素化すること」

私と同じような感覚を持っている人が大勢いることに安堵致しました。



西田光衛十輪寺住職

青松R.C.の30周年記念に各人一字ずつの額を書かせていただきました。私は常に忘れてはならぬ『恩』の一字を選びました。

小さい頃から「恩を忘れるな」と教育されてきました。勿論戦前です。昭和14~15年でしょうか。何処でおぼえたか記憶はありません。食事の直前に大声でこれをととなえさせられました。

**『箸とらば天地（あめつち）御代の御恵（おんめぐみ）
父母や師匠の恩を忘るな。いただきます。』**

と言うのです。要約すると

『食事の時は天と地の恵み、そして御代とは天皇陛下「大君（おおきみ）」即ち治世者の恵み、さらに自分を産んでくださった父や母、そして育てていただいた先生

の恩をいつも忘れてはいけません』ということです。他に仏教では父母・国王・衆生（しゅじょう=社会）三宝（仏法僧）を四恩と説きます。

No.8 訂正とお詫び

西田会員はじめ皆様にご迷惑をおかけしました事深くおわび申し上げます。



Donation

ニコニコ報告

鹿間 行雄

先般開催された第4回マーチング・イン・高砂では佐野会員，社会奉仕委員会の皆様をはじめ大勢の皆様にお世話をおかけ致しました。お陰を持ちまして盛況に終えることができました。ありがとうございました。

竹原 俊三

マーチング・イン・高砂の成功裏の終了，おめでとうございます。
佐野さん，矢野委員長お疲れ様でした。

増田耕太郎

先日のマーチング・イン・高砂は大盛況でしたね。会長はじめ佐野会員，社会奉仕委員会，そしてお手伝いの皆様おつかれさまでした。

佐野 栄作

先日のマーチング・イン・高砂は，みな様の御協力により盛大に開催することができました。ありがとうございました。

西中 亮二

本日卓話をさせていただきます。

藤本 明久

マーチング・イン・高砂には私用の為，出席出来ず申しわけありませんでした。
観月会 in 十輪寺の案内遅くなりましたが，時間がありましたらお越し下さい。

西田 光衛

マーチング・イン・高砂欠席してすみません。

廣瀬 明正

しばらく休んでいましたが，今週末退院できることになりました。

菊地 敬子

No.8 西田十輪寺住職のお話の訂正文を次回の週報に載せます。訂正文をお目通しいただきます様よろしくお願ひします。ご迷惑おかけしました事，深くお詫び申し上げます。

大橋 卓司

結婚記念日の花贈呈有難うございました。

佐野 栄作・岡本 崇司・松尾 毅

誕生日お祝い有難うございました。

中谷 利幸・菱田 克己・田水 敬雄

渡辺 弥生

花を飾りましょう。

柿木 國夫・内海 薫

所用の為早退致します。



Secretary

幹事報告

第9回 通算1373回

1. サークル活動の案内も委員会報告の時間にしてください。
2. コンペの案内やセミナーが目白押しです。日程・場所を間違えないようお願いいたします。
3. 回覧その他

ロータリー財団より新公益法人制度にあわせた公益財団法人設立の案内が届いております。

国際ソロプチミスト加古川より新会長就任のご挨拶が届いております。

加古川平成ロータリークラブより平松愛理チャリティコンサートの案内が届いております。



et cetera

委員会報告



国際奉仕委員会
原田会員



藤本会員
観月in十輪寺
ご案内



社会奉仕委員会
佐野会員
マーチング・イン・高砂お礼



米山奨学青木委員長
募金のお願い

平成20年9月10日

チェンライR.C.公式訪問とクンパンヤー文庫運用検証報告

1. 8月27日 チェンライR.C.例会に公式訪問 国際奉仕委員長 原田 義之
- 1) 高砂青松R.C.30周年来訪お礼と訪問挨拶
 - 2) 30周年記念誌，来訪ロータリアン全員に直接授与
 - 3) クンパンヤー文庫，今年度支援金授与
 - 4) クンパンヤー文庫評価の全体会議



2008.8.27チェンライR.C.例会 「あいさつ」 8/27チェンライR.C.例会 30周年記念誌授与 「クンパンヤー文庫」15年目について討論

2. 8月28日 クンパンヤー文庫支援校訪問とミーティング
- 1) マーンソロング小学校 生徒150名 先生8人
文庫について，日本・高砂青松R.C.の支援を周知
校長から感謝の辞
給食問題が緊急 6パーツ/1食 親負担2パーツが困難な児童が
先生が出し合って継続中



マーンソロング小学校校長が「図書に対するお礼」「給食事情」を語る

- 2) ナードック小学校 生徒114名 先生6人
去年文庫を受けた，子供が大喜び
校長から，給食問題と中古パソコンでも良い1台欲しい
図書管理を通して児童に，パソコン体験を



- 3) ナーブソマープ小学校 生徒143名 先生7人
 文庫，児童の積極利用で，本に対する子供の態度が変わった
 感謝。日本・高砂青松に



3. チェンライロータリー理事会参加
 訪問を受け，資金の半分でも「クンパンヤー児童給食支援金」に
4. 2680地区にマッチングプラン提言
 パストガバナー以下国際委員長が強く関心を持ち，早速手続きする事を進める



誕生祝

- 岡本 崇 司 会員
 森脇 祥 文 会員
 松尾 毅 会員
 佐野 栄 作 会員
 志野木 貞 夫 会員



結婚祝

- 矢野 聡 会員
 大橋 卓 司 会員



プログラム予定

9月19日(金)	9月24日(水)	10月1日(水)	10月8日(水)
合同例会 (ホスト高砂R.C.) 講師 淳心学院中等学校 校長 マルゴット氏 於:高砂神社会館	高砂市消防本部 【新世代委員会担当】	卓話 辻田会員 「寄付行為に伴う税額 控除について」 【米山奨学委員会担当】	クラブアッセンブリー 藤本定男ガバナー補佐 来訪

高砂青松ロータリークラブ

通 算	第 3 7 3 回
2008 ~ 2009	第 3 回
日	平成20年9月10日
場 所	高砂商工会議所

出席者

出席者				臨時出席者	
鹿 間 行		増 田	×	竹 原	副幹事
菱 田		森 脇			
岡 本		矢 野	×		
小 林	×	鹿 間 虹			
廣 瀬	×	原 田			

報告事項： 出席報告 (菱田 克己) (右記参照)
 会費納入状況 (小林 久夫) 8月末 84.61%

議案事項：

- 9月, 10月のプログラムの件 (右記参照)
 9月24日【新世代委員会担当例会】
 高砂市消防本部2名による卓話承認
 10月1日【米山奨学委員会担当例会】
 卓話;辻田会員
 テーマ;寄付行為に伴う税額控除について承認
 10月22日【職業奉仕委員会担当例会】
 卓話;松尾会員
 テーマ;介護事業における日本とタイの事情について承認
- 国際交流協会 11月16日(日)協賛の件 原田国際奉仕委員長
 昨年並みの対応とする。例会とはしない。
- 公式訪問・クラブアッセンブリーの件承認
 10月 8日 クラブアッセンブリー.....藤本定男ガバナー補佐来訪
 10月29日 公式訪問.....宮本一 ガバナー来訪。
 鹿間会長・菱田副会長, 岡本幹事・竹原副幹事が出席
- 次々年度会長選考委員の選出ルール
 直前会長5名遡る もっとも前の会長経験者が委員長承認
 この結果, 増田・志方・栗原・小西・田水会員で決定
 田水会員が選考委員長に決定
- その他
 WCS地区推奨プロジェクトの件.....本年度は実施しない
 納涼例会収支報告承認

マーチング・イン・高砂 収支報告 ……承認

チェンライR.C.公式訪問とクンパンヤー文庫運用検証報告（原田国際奉仕委員長報告）

(ア) チェンライR.C.が2680地区とのマッチングプランを提言しているが、取扱いは具体的な提言内容が明らかになった時点で改めて協議する

(イ) 国際奉仕委員会は、「2680地区とのマッチングプラン提言」も含め取り進めに関する諸情報を鹿間会長に前広に報告することが決定

出席報告

7月度 本クラブ出席率 72.34% メークアップ率 11.06% 修正出席率 83.40%

8月度 本クラブ出席率 76.92% メークアップ率 % 修正出席率 % (途中経過)

	7/2	7/9	7/16	7/23	7/26	8/6	8/20	8/27	
会 員 数	52	52	52	52	52	52	52	52	
出 席 数	48	47	48	46	46	48	49	46	
メークアップ	0	4	3	4	15	1	3		
欠 席 数	3	6	8	11	11	8	7		
出席免除	9	9	9	9	9	9	9	9	

9, 10月のプログラム

9 月		10 月	
3	9月6日(土)に変更 マーチング・イン高砂 於:高砂市総合体育館 【社会奉仕委員会担当】	1	卓話 辻田会員 「寄付行為に伴う税額控除について」 【米山奨学委員会担当】
10	卓話 西中会員	8	クラブアッセンブリー 藤本定男ガバナー補佐来訪
17	9月19日(金)に変更 PM12:30~ 合同例会(ホスト高砂R.C.) 講師 淳心学院中高等学校 校長 マルゴット神父 「キリスト教系私立学校教育について」 於:高砂神社会館	15	休会(定款第6条第1節(c)による)
		22	卓話 松尾会員 「介護事業における日本とタイの 事情について」 【職業奉仕委員会担当】
24	高砂市消防本部 【新世代委員会担当】	29	ガバナー公式訪問 宮本 ー ガバナー来訪

例会記録 2008. 9. 10 (水) 通算1449回

ソング 「君が代」「奉仕の理想」「歓迎歌」

4つのテスト クラブ奉仕委員会委員長 菱田副会長

来訪ロータリオン報告 大久保 義 郎 様(高砂R.C.) 埋 田 悦 造 様(高砂R.C.)

出席報告 8月27日 会員数 52名 欠席者 7名 出席率 83.72% <修正による>
(この内出席免除者9名)
9月10日 会員数 52名 欠席者 10名 出席率 76.74%
(この内出席免除者9名)

播磨ゆかりの偉人伝 ⑨

工楽松右衛門 (くらく・まつえもん) 帆布の改良と築港に全力

「工楽(くらく)」という姓は幕府から与えられたものである。「工夫を楽しむ」という意味だ。では、松右衛門はどう工夫を楽しみ、どんな功績を残したのか。

松右衛門は江戸時代の中期、寛保3(1743)年に船乗りの長男として播州高砂(現高砂市東宮町)に生まれた。幼少のころから創意工夫が得意で、海と船が根っから好きだった。また、向こう意気が強く、15歳の時、無断で家を飛び出して兵庫港の兵庫屋で船夫となった。

以来、船の改良に力を注ぎ、天明5(1785)年、偉業をやったのけた。「松右衛門帆」と名付けられた画期的な帆布の開発をしたのである。43歳の時だった。

それまでの船は帆が弱いのが泣き所だった。「なんとか風に強い帆布はできないものか」。日夜考えたすえに、厚手の木綿を使った独特の帆布の織り上げに成功。全国各地から注文が殺到するようになった。

海を舞台にした活躍はこれからが本番。今度は築港技術者として腕を振るう。5年後、幕府の命を受けて、松右衛門は遠く千島の択捉(エトロフ)に出かけた。波止場を築くためである。厳しい寒さとの戦い。そのため工事が中断されることも度々あったが、2年がかりで完成させた。

その功績で幕府から「工楽」の姓を与えられたのである。「なんとも名誉なこと」。感激の松右衛門はさらに意欲を燃やし、さまざまな工作船造りに着手。「ろくろ船」「岩釣り船」「底ざらえ船」「杭打ち船」などを次々に開発した。函館にドックを造ったのもこのころである。

その功績を称えて、高砂神社の境内に銅像が建てられている。

(主な参考文献=寺林峻・著「播磨百人伝」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)